

スポーツ施設を拠点とした稼げる地域づくりプロジェクト 総事業費79,300千円（単年度事業）
 【地方創生拠点整備交付金事業76,300千円、推進交付金事業（ソフト分2,500千円） 6月補正予算79,300千円】

事業概要

「スポーツ」と「観光」を核とした交流人口の拡大や経済活性化による地方創生を目指し、大きな人の流れを飛躍的に増加させる中心的施設となっている松島総合運動公園を舞台に、これまで取り組んでいない女子サッカーなど新たなターゲットとして地元観光協会や旅館組合等と連携した宿泊プランの造成などをもとに誘致活動を展開する。

そのために、集客を前提とした合宿の誘致に当たり、同公園の陸上競技場とテニスコートに観客席を増設するとともに、「スポーツ振興くじ助成金」等を活用し陸上競技場の芝を張り替えるなど一体的に機能強化を図り、プロスポーツチームや大規模大会の誘致が可能な施設に改修する。

また、施設整備に加え、スポーツ合宿助成制度の拡充や地元産業界と連携した冠大会の開催など年間を通して切れ目なく取り組む。

（１）陸上競技場・テニスコートの観客席整備（6月補正71,800千円）すべて今回補正 【社会教育課】 予算書P31～32

- ・観客席が圧倒的に不足しているため、屋根付き観客席（300席）をそれぞれの施設に増設

（２）クラブハウスの改修（6月補正5,000千円）すべて今回補正 【社会教育課】 予算書P31～32

- ・クラブハウス内にミーティングルームが1室しかないため、対戦チームが使用できる環境に整備

（３）その他ソフト事業（6月補正2,500千円）すべて今回補正 * 推進交付金を活用 【社会教育課】 予算書P30～31

- ・プロスポーツ団体等招致選手謝金（6月補正2,000千円）
- ・キッズ大会等運営委託料（6月補正500千円）

→キッズから小中高生を対象としたスポーツ教室の開催や交流を実施。プロ選手の指導を受けることで、トップアスリートの育成、競技レベルの向上を図る。

（４）関連事業（助成対象外事業）【220,000千円】（当初予算）* スポーツ振興くじ助成金 社会教育課

- ・陸上競技場の芝を「人工芝」へ（事業費：2億2千万円 → 〔一般財源・スポーツ振興くじ助成金〕）

① 上天草市ヘルシーアイランドづくり事業 【地方創生推進交付金事業（継続事業）】
事業費137,377千円（H28:18,197千円、H29:66,696千円、H30:52,484千円） 6月補正予算16,697千円

事業概要

当市が有する“海”と“健康”（医療、温泉、スポーツ施設）の資源をもとに上天草市のヘルシーイメージを創出し、幅広い年代層が楽しめる滞在型観光地づくりのための事業を実施する。

(1) 遊休養殖場を活用したあさりのブランドづくり事業 事業費：16,000千円 ※今回補正なし【農林水産課】

・遊休養殖場を活用したアサリのブランドづくり事業（当初予算16,000千円）

→前年度に調査を行った、廃業により遊休状態の車エビ養殖場のうち、あさりの養殖が可能な養殖場を選定し、養殖の実証を開始する。養殖実施に係る費用として、養殖かご（3,000千円）や稚貝の購入費（12,000千円）のほか、養殖池賃貸料（100千円）、管理手数料（800千円）、行使料（100千円）を計上。

(2) 観光トータルブランディング推進事業 事業費：29,000千円（うち当初予算19,923千円、今回補正9,077千円） 【観光おもてなし課】 予算書P26

・観光トータルブランディング業務委託料29,000千円（うち6月補正増額9,077千円）

→上天草市の観光戦略として市内観光資源のブランド化を推進するため、専門性の高いコーディネーターを招聘し観光ブランディングに取り組むもの。進捗調整会議費用、計画策定費用、ブランディング推進（芸術とのコラボレーション、メディアでのイメージ発信、旅行商品造成等）

(3) 観光拠点からのイメージ発信事業 事業費：13,000千円（うち当初予算9,990千円、今回補正3,010千円） 【観光おもてなし課】 予算書P26

・観光拠点からのイメージ発信業務委託料 13,000千円（※うち6月補正増額3,010千円）

→当市の持つ観光資源の魅力を最大限に発揮させるため、天草五橋周辺の多島海の織りなす景観と人気アニメone-pieceのイメージマッチングを図るイベント等を企画し、当市へ訪れたいような魅力ある前年度策定した計画に基づくイベント開催（更なるone-pieceの世界観の植え付け）メディア等での情報発信、イベント開催

(4) 自然景観修景事業 事業費：3,000千円（当初予算3,000千円）※今回補正なし【都市整備課】

・千巖山・前島地区間伐等整備業務委託（当初予算3,000千円）

→天草五橋と松島の島々を眼下に一望できる千巖山や阿蘇や雲仙、霧島まで見渡すことができる龍ヶ岳山頂等の景観スポットにおいて、景観の妨げとなっている雑木の伐採を行うもの。今年度は千巖山エリアを実施。

(5) 複合型スポーツ&ヘルスプロモーション事業 事業費：13,336千円（当初予算13,336千円※うち交付金対象5,696千円、対象外7,640千円） ※今回補正なし【健康づくり推進課】

・上天草温泉学会開催費、ヘルシーメニュー開発費、事業普及活動業務委託、ヘルスツーリズムモニター業務委託、人間ドックモニター事業業務委託、ライフキネティック費用、エアロソル室修繕 など（当初予算額13,336千円）

→温泉施設や健康マラソン、トレッキング、イルカウォッチング等の各種事業を有効活用したヘルスアッププログラムを作成し、スポーツ&ヘルスツーリズム事業を展開するもの。

② シーリゾートトライアングル構想策定事業 【地方創生推進交付金事業（新規事業）】

総事業費47,430千円（H29：12,780千円、H30：27,850千円、H31：6,800千円） 6月補正予算12,780千円

事業内容

観光・リゾートの拠点施設が集積されつつある前島及び樋合島の両結節地点に天草ビジターセンターがあり、海と結ぶと三角ルートを形成する。天草五橋のビュースポットやハクセンシオマネキの群生地、島の地層を間近に見られる迫力満点のスポットを自動車ではなく、自転車や船で移動することそのものを体験コンテンツとして観光資源化でき、その他の資源と結び付けて宿泊に十分耐える素材が集積したゾーンを一体的に形成し、日帰り客を宿泊客に変える。また、現在活用されていない旧樋合小学校舎の跡地を地元住民による利用に加え、観光分野での活用を検討するほか、リゾートホテル、温泉旅館など、様々なニーズに対応した長期滞在型観光エリアを形成することで観光宿泊客の増加を実現するもの。

（１）前島・樋合島シーリゾートトライアングル構想の策定【8,000千円】（すべて今回補正）【企画政策課】予算書P13

・前島、樋合島シーリゾートトライアングル構想策定業務委託（6月補正8,000千円）

→本市の関係機関による協議会を設置し、船と自転車で結び帯を満喫できる周遊プランの構築や各施設のポテンシャル調査や役割分担の検討、必要となる整備事業の位置づけ、さらに民間投資の誘導につながる施策について検討を行い、観光客が当該エリアで滞在可能な構想を策定する。

（２）港及びアクティビティの有効活用【4,780千円】（すべて今回補正）【企画政策課】予算書P13～14

・前島、樋合島をめぐるモニターツアー委託料（6月補正1,800千円）

→島などの地域資源を堪能できるシーカヤックを活用した前島・樋合島等を巡るモニターツアー（旅行会社等に委託）の実施。

・レンタサイクル用自転車の導入委託料（6月補正2,400千円）

・ビュースポットへのサイクルラック設置（6月補正580千円）

→気軽な自転車の利用につなげる配送型レンタサイクルの導入及びビュースポットへのサイクルラックを設置

③ 湯島で生きる「島活」事業 【地方創生推進交付金事業（新規事業）】

総事業費101,034千円（H29:7,820千円、H30:13,220千円、H31:11,220千円） 6月補正予算7,820千円

事業概要

市内唯一の限界集落である「湯島」において、島しょという条件不利を逆手に取り、湯島の地域特性を有効活用するための磨き上げとして、湯島灯台を中心とした癒し・ホスピタリティをテーマとした環境整備及び誘客プランの作成、空き家を活用した新たな雇用の創出のほか、お試し移住ツアーによる移住促進の取組みを展開。

(1) 癒しにつながるスローライフや慈愛に満ちたロマンの島の魅力を磨き上げ 事業費:1,000千円（すべて今回補正）
【観光おもてなし課】予算書P25

- ・ 恋する灯台の散策路等周辺整備（6月補正1,000千円）
→ 常時管理者がいなくなった灯台周辺の環境を整備（地域を巻き込んだ散策路の手入れ）

(2) 湯島スタイルの移住受け皿（職・住）づくり 事業費:6,820千円（すべて今回補正）【企画政策課】予算書P14

- ・ 湯島における空き家を活用したサテライトオフィス設置の整備検討（6月補正120千円）
→ 湯島における雇用場として、サテライトオフィスの設置を検討するにあたり、県内で実績のある肥後六華の会への参画負担金（合志市等との連携事業）を計上
- ・ 湯島スローライフお試し体験ツアー（6月補正1,700千円）
→ スローライフお試し移住ツアーの開催（年4回）
- ・ 都市部への移住プロモーション事業委託料（6月補正5,000千円）
→ 湯島地区における移住促進を強化するため、動画コンテンツ等の作成・配信による都市部へのプロモーションを行うもの。

④ 上天草市「観食住サイクル」事業 【地方創生推進交付金事業（新規事業）】
 総事業費101,034千円（H29:46,512千円、H30:28,637千円、H31:25,885千円） 6月補正予算13,500千円

事業概要

6次産業を中心に産業の活性化を図ることで「仕事をつくり」雇用機会を創出。大都市で食を中心とした移住事業の展開及び市内で高校生を中心とした観光PRによって市内外から「仕事に呼び込み」就業者を確保。「仕事の連携」として食と観光を横断的に事業を実施。「仕事をつくる」、「仕事に呼び込む」、「仕事の連携」のサイクルを継続的フンストップで実施することで一極集中する大都市から移住者を増加させ、人口減少を抑制し市として持続可能な人口構造を確保する。

(1) 6次産業推進パッケージ事業 事業費：15,837千円 ※今回補正なし【産業政策課】

・くまもとマルシェ美味かモン出店事業委託(当初予算1,440千円)

→熊本の間民間企業が運営する伊勢丹相模原店内の「くまもとマルシェ美味かモン」に本市専用の売場を設置。商品を販売することで消費者ニーズを勘案したブラッシュアップを図るとともに、販路拡大を図るもの。

・販売促進スキルアップ研修事業委託料(当初予算1,700千円)

→6次産業に取組む民間事業者の販売促進・販路拡大を行うために必要な営業力、企画力等の能力向上を目的としてスキルアップ研修を行うもの。

・関西・上天草交流事業委託料(当初予算2,300千円)

→生産者・事業者のスキルアップ向上及び販路拡大を目的として、大消費地大阪において物産や観光に関するPRイベントや商談会を開催するもの。

・市産品開発支援事業委託料(当初予算5,145千円)

→市内1次産品を活用した商品開発、食品製造業者とのマッチング機会の充実及び市内生産者と商工業者との連携による商品化の拡充等支援を行うもの。

・ブラッシュアップ事業委託料(当初予算5,252千円)

→販売先バイヤー等の有識者を委員とする評価会を設け、商品開発から販売に至るまでの評価を基に商品を開発（ブラッシュアップ）し実証販売を行うもの。

(2) 食と観光の連携による商品力強化と観光の冬季対策 事業費2,495千円 ※今回補正なし【観光おもてなし課】

・観光ルート等観光商品創出委託料(当初予算2,495千円)

→6次産業推進パッケージ事業により開発した商品と特産品を活かした観光ルート等、地元民を巻き込んだおもてなしスキルを向上させる。

(3) 食を中心とした移住促進 事業費：28,180千円（うち当初予算14,680千円、今回補正13,500千円） 【企画政策課】 予算書P14～15

・上天草市産業体験イベント事業(6月補正5,000千円)

→大都市（東京都を想定）において、市産品の展示販売を行うとともに、食に関する上天草市の仕事を疑似体験システム活用により紹介し、移住を喚起するもの。

・食のグランプリ業務委託（6月補正3,500千円）

・チャレンジショップ改修補助(6月補正5,000千円)

→豊富な食材を活用した食のグランプリを開催し、優秀者には空き家又は空き店舗活用によるチャレンジショップの改修費用を一部助成するもの。※地元住民のみならず域外者(移住検討者等)を含め、食のグランプリへ参加を促し、移住促進と雇用確保に結び付ける。

・移住シティブロモーション事業委託(当初予算23,695千円、うち交付金対象14,680千円)今回補正なし

→移住を喚起するための上天草市内の景観・人・豊富な食材などをPRする移住プロモーションビデオを作成するもの。